

患者の皆様へ

2021年1月29日

血液内科

現在、血液内科では、真性血球増加症、本態性血小板血症および原発性骨髄線維症における JAK2, CALR, MPL 遺伝子変異のマルチプレックス検出系の評価における研究を行っています。千葉大学大学院医学研究院が行う後方視的研究であり、今後の治療に役立てることを目的に、診療情報などを利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名

研究課題名：真性血球増加症、本態性血小板血症および原発性骨髄線維症における JAK2, CALR, MPL 遺伝子変異のマルチプレックス検出系の評価

2. 研究の意義・目的

積水メディカル㈱が開発した、特異的 PCR 増幅反応およびその増幅産物をイオン交換クロマトグラフィーで分離同定する JAK2/CALR/MPL 遺伝子変異検出法の測定感度並びに特異性の確認を行い、WHO 分類 2016 の診断基準に適用の可能性を見極め、当該施設の検査法として確立することで、積極的な JSH-MPN-15 への参加が達成されるとともに、MPN 患者と 3 遺伝子変異情報を基に、より適切な診療へつなげることを目的としています。

3. 研究の方法

各参加施設において、同意が得られた被験者より、通常診療で行う採血の際に追加で血液は 2~7ml を追加採取し、検体を千葉大学医学部附属病院血液内科に送付し、その後、積水メディカル株式会社に送付します。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院血液研究室の鍵のかかる棚で保管します。

5. 研究機関

本研究は、千葉大学大学院医学研究院内分泌代謝・血液・老年内科学（代表者：堺田恵美子）を代表機関とする共同研究である。

6. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。

研究実施機関：千葉大学医学部附属病院 血液内科

本件のお問合せ先：医学部附属病院血液内科 医師 堺田恵美子

住 所：千葉市中央区亥鼻 1-8-1

電話番号：043（222）7171（内線 5259）